

令和3年度 長崎市立形上小学校 学力向上プラン

日本国憲法・教育基本法
学習指導要領
長崎県教育振興基本計画
長崎市第4次総合計画
長崎市教育振興基本計画

学校教育目標

考え判断し自ら行動する、やさしく
かしこく たくましい 形上っ子の育成

○地域の特色・地域の願い
○児童の実態や願い
○保護者の期待・願い

<教師の指導力向上>

○新学習指導要領が求める授業実践
○課題に応じた授業改善と実践
○きめ細かな児童理解と指導

めざす児童像

○考える子 ○がんばる子
○たくましい子 ○磨き合い優しい子

<本校の重点課題>

○学力向上の実現
○特別支援教育の充実
○自信と実践力を備えた児童育成

学力向上の重点目標

- ★ 学力調査や児童の実態を踏まえ、「基礎・基本の力を習得させながら「読解力」の向上に重点的に取り組む。
- ★ 授業改善やチャレンジタイムの活用等に取り組み、平均点に近づける。各種学力調査における各教科については平均を3ポイント向上させる。

学力向上の指導の重点

- ① 授業において、「読解」を意識した指導を行う。
- ② チャレンジタイムは宿題と連動させ複数指導体制で指導を図る。
- ③ 授業のUD化を目指す。
- ④ 学級版「学力向上プラン」を作成し、実践し課題を克服する。
- ⑤ GIGA スクール構想の実践

授業改善

* 「めあて」と「まとめ」のある問題解決的な指導過程を踏えた授業展開を行う。(そろえる)

長崎県読解力育成プランの活用

- ・読み取りの技能を指導する。
- ・叙述に即して読み取らせ、発言にも根拠を入れさせる。
- ・文章だけでなく表、グラフ図からも読み取らせる。

→ 単元末テスト平均 80 点以上

* 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

- ・追究する課題の設定
- ・課題解決への見通しの理解
- ・一問一答に陥らない目的ある交流の実施(広げる・深める)

* 支援を要する児童への個別指導
→ 学びの定着・学びへの自信

チャレンジタイムの充実

- 各学年において複数体制で指導する(実施率 100%)
- 週2回の実施
→ 宿題と連動した問題の提示

学力調査の結果及び平素の児童の実態

	国 語	算 数
1 年	・読解力を要する問題に課題がある。	・文章問題の題意を的確に理解することに課題がある。
2 年	・文章を読み取ることや目的に即して書くことに課題がある。	・かさや長さなどの単位や文章問題への理解に課題がある。
3 年	・条件に合った文章を書くことに課題がある。 ・文章を読み取ることに課題がある。	・時刻と時間の理解へ課題がある。
4 年	・物語の内容を読み取ること、また、漢字の活用と語彙力への課題がある。	・文章問題をとらえ、立式することに課題がある。
5 年	・問題文を読み取る力に個人差がある。 ・条件に合った文章を書くことに課題がある。	・数直線や図表など問題解決の工夫をする力に差がある。 ・基礎的な計算の力はあるが発展問題には課題がある。
6 年	・文章の要旨をとらえながら聞いたり、読み取ったりすることに課題がある。	・計算の速度差や正確性に差がある。 ・文章問題から数の関係性をつかむことに課題がある。

■学級担任によってより詳細な分析を踏まえて作成した学級別の「学力向上プラン」に基づいて取組を実践し、課題の領域(観点)について、+3~6ポイントの上積みを図る。

■アンケート「分かりやすい授業である」(90%以上)
「家庭での学習習慣が身に付いている」(80%以上)を目指す

学力向上プランの活用

- 各種学力調査の結果を踏まえた学級ごとの「学力向上プラン」を作成し活用する
- 学期ごとに見直し修正する。
→ 面談で進捗状況を確認

校内研修の研究への取組

- 通常学級に在籍する支援を要する児童も学習に参加できる手立ての工夫を模索する。
→ 授業のUD化
→ どの子も取り組める学習

生活習慣の形成・家庭学習の充実

- 生活リズムのある規律正しい生活習慣の形成
→ 家庭学習の手引きの作成(家庭への要請)
- 学習内容の定着を図る家庭学習(家庭での見届け・確認)
→ 音読や読解問題を課す

その他

- * 週2回の「読書タイム」
- * スクールサポーターの活用
- * 寺子屋事業による放課後学習

「P→D→C→A」サイクルを生かした方策の改善と目標の実現